

(様式4)

◆ 榎井 縁

<所属・職名>

大阪大学 人間科学研究科 招聘教授
藍野大学 医療保健学部 教授

<略歴>

大学卒業後、ネパール Social Research Center で活動。中学校教員の傍ら NGO「チベット難民児童奨学会 (TRCS)」を設立、同代表。神奈川県国際交流協会、大阪府教育委員会指導部国際理解教育相談員、公益財団法人とよなか国際交流協会の事務局長・常任理事、2013 年より、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム特任准教授、2008 年より、大阪大学大学院人間科学研究科 特任教授を経て現在大阪大学大学院人間科学研究科招聘教授。2024 年より藍野大学医療保健学部教授。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了、人間科学博士 (Ph. D)。専門は教育社会学。

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

神奈川県で 90 年初期の外国人受入の現状やアフターマティブ・アクションの国内外の比較研究を行い、教育総研で、アイヌ・在日コリアン・中国帰国者・インドシナ定住難民・日系南米人の保護者の声を民族的少数者からの提言としてまとめた。その後、大阪府教育委員会指導部でニューカマー受け入れの仕組みづくり (通訳派遣、多言語対訳集、低学年の日本語指導者派遣事業)に関わり、1998 年からは豊中市の国際交流協会で、外国人の母子保健に関する研究、外国人女性の DV 被害者に対する社会的資源の研究、事業では日本語交流活動、子どもの居場所づくり、母語教室、親子参加型日本語活動や在留資格のない家族の支援などを実践。2013 年から現職。多文化共生を実践する研究者の育成とともに、外国につながる子どもの就学・学力・進路に関する研究、高校における支援とキャリア形成、外国人学校や公立学校の外国籍教員、外国人を支援する教職員組織や NGO 組織などについての研究を行ってきた。現在もキャリアに関する研究や、外国人の教育における包摂と排除に関する研究を継続するとともに、学校教育現場や NGO 組織現場に深く関わっている。

<対応可能学校種>

幼保小中高等学校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

☒ 対応可 ☐ 対応不可

<その他(国等の委員歴等)>

門真市人権尊重のまちづくり審議委員、守口市人権尊重のまちづくり審議委員、伊丹市人権教育・啓発施策審議委員、吹田市人権施策審議委員、姫路市国際化プラン検討懇話会委員、大阪府立高等学校学校運営協議会委員 (3 校)、大阪弁護士会人権賞選考委員長

<関連URL>

<https://respect.hus.osaka-u.ac.jp>
<https://univ.aino.ac.jp/info/pt/y-enoi.php>
<https://www.ikunotabunkaflat.org/heads>